

【宋代の社会】

開封の発展…「清明上河図」（張択端）に多く描かれている。

草市…小規模な都市。交通の要地に成立。

鎮・市…商業都市。草市から発展。

行…商人の同業組合。営業の独占を図った。

作…手工業者の組合。

〈貨幣〉

飛銭…唐代の末から使われた送金手形。

交子…北宋の紙幣。世界最古の紙幣と言われる。

会子…南宋の紙幣。

〈農業の発展〉

占城稻…チャンパー原産の稲で日照りに強い早稲種であった。

“蘇湖熟すれば天下足る”：長江下流域が中国全土の穀物生産の中心であったことを表した言葉

⇒富裕農民や地主は形勢戸となって科挙で官人を輩出。

〈その他〉

- ・喫茶の普及…紀元前後に文化として現れた喫茶が一般に普及。
- ・景德鎮…長江の南に位置する都市で中国第一の陶磁器生産地。
- ・木版印刷、火薬、羅針盤の発明。